

今回はカタールの民族衣装についてお話しします。

## 印象的な光景

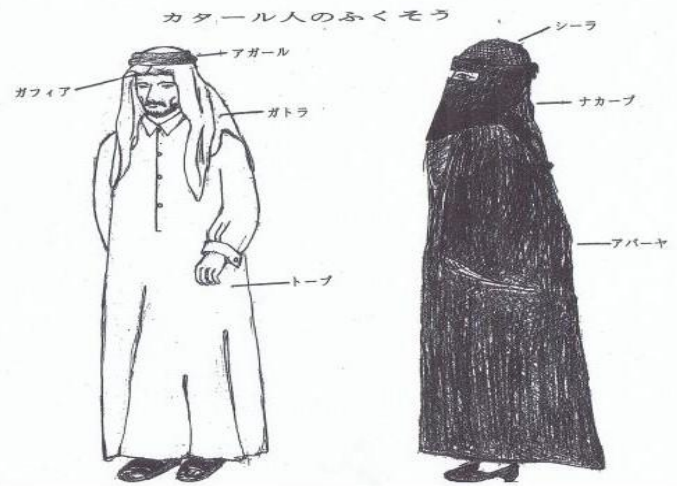
私がカタールへ来て、最も印象的だった光景は、初めてショッピングモールへ行った時のことでした。カタールへ赴任して、日用品の調達のためにショッピングモールへ行きました。店内に入ると、そこには全身真っ白の衣装に身を包んだカタール人男性と全身真っ黒の衣装に身を包んだカタール人女性たちの姿がありました。ショッピングモールというごく日常的な場所でも彼らはこのような民族衣装で生活をしていることを実感し、「ここがイスラムの世界カタールか…」という気持ちになったことを覚えています。

## 男性のトーブと女性のアバーヤ

カタールの人々の服装は気候やイスラム教の教えに合っています。男性は頭をおおい、首から足までである長袖の「トーブ」と呼ばれる服を着ています。トーブは猛烈な日差しと暑さに見舞われるアラブの気候に適した服装です。全身白色で太陽光を反射して、袖幅も裾幅も広いので風通しがよいです。季節によって布地を変え、夏向きものは白やベージュ色の木綿で、冬向きものはウールで作られています。また彼らはガトラと呼ばれる四角い真っ白い布を、三角に折って頭にかぶっています。

そしてアガールという黒い糸で編んだ二重の太い輪でかぶったガトラを頭上に留めています。男の子が15歳くらいになると、お祭りなどの行事にこれをかぶります。成人になったことの証明だそうです。

女性は長い服を着込んでおり、外出するときにはマスマックと呼ばれるマスクやナカーブという布で顔をおおい、アバーヤと呼ばれる真っ黒なローブを着ています。しかし思春期（12歳くらい）までは、こういったアバーヤを着ていないのが一般的です。黒いローブの下には、金糸で刺繍をほどこした明るい服やヨーロッパからのファッションブルな服を着ています。



カタール人の友達の家での写真

## 最カタール人の衣装のQ & A

- Q. カタール人たちはいつも必ずこの民族衣装を着て生活をしているのでしょうか。
- A. 答はNOです。外出する時に着て出かけます。カタール人でも旅行に行くときやホテルで食事をするときはスーツを着たり、ジーンズやシャツなどを着用。場所によって使い分ける人もいます。
- Q. 女性はなぜ顔や髪を隠しているのでしょうか。
- A. これには諸説ありますが、あるムスリムの女性に聞いたところ、女性は家族や限られた親戚以外には顔や肌を見せてはいけないというイスラム教の教えからきているのだそうです。日本人の感覚からすると美しい物なら見せたいと思うところですが、全く逆の発想です。しかしその女性たちも家庭内では身につけず、外出するときや夫以外の男性が家に来たときなどに身につけるそうです。
- Q. 値段はいくらくらいするのでしょうか。
- A. 男性は3000円くらいの物から、オーダーメイドの3万円くらいまで幅があります。女性のアバーヤはもっと値段幅が広く、5000円～10万円くらいのものがあります。高級のアバーヤは絹でできており、袖口などに美しい見事な刺繍が施されています。